



「おわら踊り」の輪広める

せきね まさこ
関根 雅子さん(65歳・豊里町)

で踊る姿に感激。「編み笠の女性が少し顔をのぞかせて優美に踊る姿に魅せられ、毎年のように富山に通いました」。

知るほど難しい
奥深さが魅力

へキタサノサードッコイサノサ。北陸の秋の風物詩「おわら風の盆」に魅せられて愛好会「知輪(さとわ)会」を結成し、哀愁漂う本場の唄や踊りを広めています。

浴衣姿の優美な踊りに

感激

「おわら風の盆」は豊作を



願って毎年9月、富山市八尾(やつお)町で行われる伝統行事です。30歳代の頃に「すごい盆踊りがあるよ」と知人に教えてもらい、バスツアーで現地を訪れたのがおわら踊りとの出会いです。

三味線や胡弓(こきゅう)の音色と越中おわら節の唄に合わせ、浴衣を着た男女が街中

近畿富山県人会の総会に参加する人は踊りを教えてもらえる聞き、事前の講習会を受講。「もっと踊りたい」との思いが募り、7年前に富山出身者たちを誘って「知輪会」を結成しました。現状は、吹田市や堺市の愛好家も参加し、35人の会員が毎月2回、公民館などで練習しています。

踊りは男女や世代によっていろいろな振り付けがあり、ゆったりとした唄に合わせて練習。三味線は習い始めて8年、胡弓も6年になりますが、「どれも知れば知るほど難しい。でもそれが魅力の一つです」といいます。

寝屋川でもおわら踊り開催

9月には近畿富山県人会と共催で「越中おわら踊りin寝屋川」を大和町の公園で開き、毎年500〜600人が参加。身長が167cmと高い関根さん



男踊りを披露する関根さん

は勇壮な男踊りを披露し、近くの神社まで練り歩く「町流し」も行っています。

今年は、20万人を超える観光客でにぎわう本家の「おわら風の盆」が新型コロナウイルスの影響で中止に。9月5日(土)に予定している7回目の「越中おわら踊りin寝屋川」も開催が危ぶまれており、「多くの人に参加してもらいたい」が、状況を見極めながら判断したいと話しています。

あふたーわーど Afterword

4月から企画三課のメンバーとなりました広報編集長です。生まれも育ちも寝屋川市、生粋の寝屋川っ子です。市の魅力や情報をはじめ、明るい話題などの発信をよりパワーアップして「あっ!これ知りたかった」と言われる誌面をお届けしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



市公式アプリ
もっと寝屋川

iOS用

Android用



市フェイスブック



市ツイッター



市ホームページ



市 YouTube
公式チャンネル



市インスタグラム

